

子どもの福祉医療制度の拡充について

～窓口無料化に向けた検討～

保健福祉部 福祉政策課

1 前回の分科会における主な意見

1

【議論のポイント】

①窓口無料化の目的や必要性 ②受給者負担の在り方 ③市の財政、医療機関や周辺自治体に及ぼす影響など

※発言順

- ① 精神科や診療内科にかかる思春期の中高生は、家族に相談しづらい面もあることから、心の不調にも対応できるような医療制度の確立は必要であり、窓口無料化は望ましい。
- ② 令和4年度の対象者拡大の審議の中でも窓口無料化は賛同されていたが、先ずは拡大することになった。働き始めた母親など保護者の負担を考えると、窓口無料化すべきである。
- ③ 医療費の負担軽減は保護者から要望もあることから、子育て世帯にやさしい長野市の実現に向けて子育て支援を進めていていただきたい。
- ④ 市議会では全会一致で賛成しており、全面的に応援していくという結論に至った。人口減少や少子化が進む中、厳しい財政状況を踏まえて将来推計も併せてお示しいただきたい。
- ⑤ 18歳まで対象者を拡大したことで、高校生の保護者からはスポーツ活動にも安心して取り組めるといった声をいただいている。長野市の「みらいハッ！キャンププロジェクト」にはスポーツ活動もあり、これをきっかけに始めた活動に安心して取り組める一助になるのではないかと。是非、18歳までの窓口無料化も進めていただきたい。

1 前回の分科会における主な意見（つづき）

- ⑥ 虫歯は、軽度のうちに治療すると早くに終わるが、重度になると通院回数が増えてしまう。通院しやすい環境は医療費を抑えることにもつながるので、窓口無料化を実現していただきたい。
- ⑦ 医療費の窓口無料化は素晴らしいことである。子どもの減少は避けなければならないが、出生率の低下やコロナ禍の影響を踏まえると、お示しいただいた資料の数値以上に加速していくのではないかと懸念されている。愛知県豊田市のように24歳まで対象が進むとは思わないが、税収の減少を考慮しながら、18歳を超えた年代についても視野に入れていただきたい。
- ⑧ 1レセプトにつき500円といっても、医療機関で500円、薬局でもさらに500円となり、実際には2倍となるので、窓口無料化になるとありがたい。
- ⑨ 保育園で子どもを病院に連れていく場合があるが、園によってその対応が異なるので、平等性が保たれる窓口無料化には賛成である。
- ⑩ 莫大な教育費がかかる学生の間は、保護者の負担も大きく、また学生本人が医療機関での受診を行き渋ることがないように、医療費が無料になるとありがたい。
- ⑪ 厳しい福祉・医療問題に対して、窓口無料化は一定の効果があると考えられることから、これに賛成する。

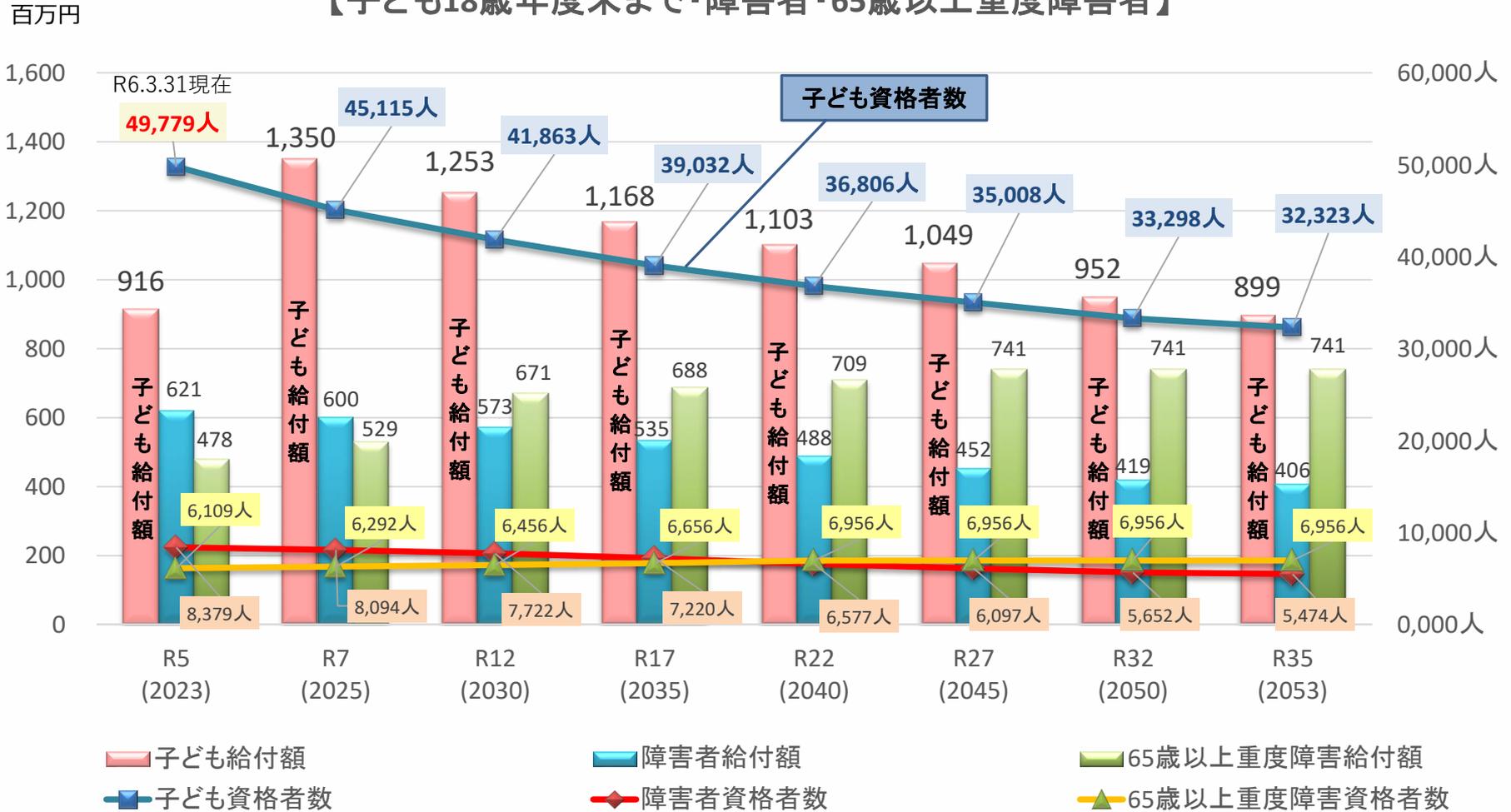
- ① 無料化にはメリットとデメリットがあると思います。デメリットとしては、過剰受診が増えることや、待ち時間の増加、緊急を要する患者の受け入れが遅くなることなどが考えられます。すでに対策を立てていると思いますが、様々な意見を元に進めて頂きたいと思います。また、子育てに関しては多様な支援が求められるため、優先順位を決めて頂き、保険料の値上げや税金の増加に跳ね返らないようお願いしたいと思います。メリットとしては、経済的な負担の減少と健康増進だと思いますが、医療費の無料化以外にも様々な方法があると思います。子育てをしやすく、子ども達が生き生きと過ごせる地域になることを期待しています。
- ② 子どもの窓口無料化は、ぜひ進めて頂きたいと思います。様々な理由で経済的に苦しい家庭も相談の中でお聞きしますので、よろしくお願いします。
- ③ 一刻も早く、子どもの窓口無料化を実現してほしい。早期実現を求む声、多数です。子ども達が経済的負担なく医療を受けられるようによろしくお願いします。

【今回の分科会での論点】

- 子どもの福祉医療費の窓口無料化に伴う課題にどう対応していくか。
- 今後のスケジュール（案）について

3 福祉医療費の将来推計について

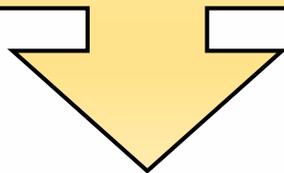
人口推計による福祉医療費の推移予測
【子ども18歳年度末まで・障害者・65歳以上重度障害者】



※「令和5年度 財政推計」の将来人口推計の増減率からそれぞれ資格者数を推計し、令和5年度の入院・通院単価をかけた給付額を算出

【意見のまとめ】

子育てしやすいと感じられる長野市を目指して取り組んでいくことは望ましい。子育て家庭の経済的負担の軽減を図るとともに、将来を担う子どもたちが健康で、かつ安心して受診できるよう、子どもの福祉医療制度の拡充は重要な施策であり、窓口無料化に向けて早急に準備を進めるべきである。



【長野市の今後の方針】

- 今後、長野市社会福祉審議会からの答申を受け、関係機関等への周知や協力依頼を行いながら、窓口の無料化に向けて準備を進めていく。
- 「18歳年度末まで」を対象に所得制限なしで窓口無料化とし、令和7年度中の実施を目指す。

長野市の財源別推移と今後の増加見込額

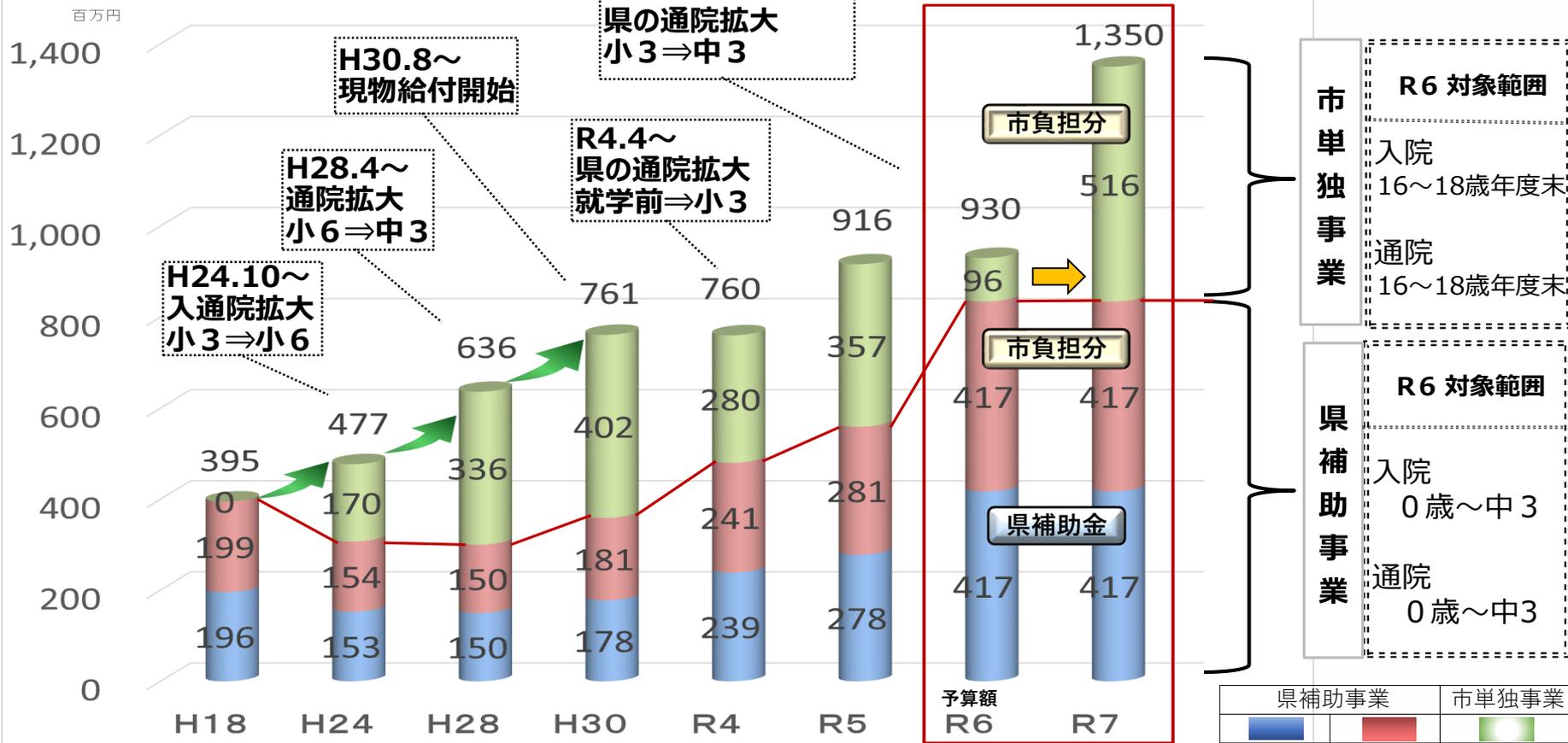
参考 1

子どもの福祉医療費について「18歳年度末まで」の対象者を窓口無料化した場合

※令和6年度予算を元に、給付額を試算

福祉医療費給付額 増加見込額
4億2,000万円

18歳まで窓口無料化



県補助事業		市単独事業	
県補助金	市負担分		

福祉医療費の資格者数及び給付金額の推移

百万円

